

各 位

会 社 名 明豊ファシリティワークス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長兼会長 坂田 明  
 (JASDAQ・コード1717)  
 問合せ先  
 役職・氏名 取締役経営企画本部長 大島 和男  
 電話 03-5211-0066

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成22年3月期 個別業績予想の修正等

##### (1) 第2四半期個別累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
					円 銭
前回予想(A)	1,600	△186	△190	△110	△9.43
今回修正(B)	1,320	△96	△95	△55	△4.92
増減額(B-A)	△280	90	95	55	—
増 減 率	△17.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	4,076	390	390	225	18.69

##### (2) 修正理由

世界的な金融危機の影響を受け、平成20年10月以降、顧客の設備投資が止まる等、受注環境が悪化していたため、平成22年3月期の業績予想を作成する上で、受注環境の回復予想を厳しく見ておりました。

全体の受注状況は、まだ回復途上にありますが、一方では現下の厳しい経済環境の中で、施設の新築・改修やオフィスの移転等にあって、CM(コンストラクションマネジメント)手法を採用する企業が増加し、期初の予想を上回る受注量を確保致しました。

これを受け、受注後に着手し進捗した分を売上高及び売上原価に計上する進行基準の積上げによって、売上総利益及び営業利益等は、公表した業績予想を上回る見込みとなりました。

#### <売上高について>

売上高につきましては、プロジェクトマネジメントフィーのみを売上高とする「業務委託契約(図1)-ピュアCM契約」と、プロジェクトに関する工事原価等を含めて売上高として計上する「工事請負契約(図2)-アットリスクCM契約等」とでは、売上総利益が同じであっても売上高が大きく異なる中で、第2四半期累計期間の売上につきましては、「業務委託契約(図1)-ピュアCM契約」の占める割合が前回予想より高くなり、「工事請負契約(図2)-アットリスクCM契約等」の占める割合が前回予想より低くなりました。

そのため、「工事請負契約(図2)-アットリスクCM契約等」の減少による売上高の減少分を、「業務委託契約(図1)-ピュアCM契約」で補うことができず、第2四半期累計期間の売上高は前回予想1,600

百万円に対して1,320百万円となる見込みとなりました。

<営業利益について>

前述のとおり、売上高は、前回予想を下回る見込みではありますが、損益計算書に売上総利益率が高く表示されるピュアCM契約が予想より多くなったことにより、売上総利益は前回予想を上回る見込みであります。販売費および一般管理費につきましては、ほぼ前回予想通りであり、売上総利益の増加がほぼ営業損失の減少となっております。

これらの結果、第2四半期累計期間の営業損失は前回予想△186百万円に対し、今回修正△96百万円(前回予想比90百万円の営業損失の減少)になる見込みであります。

<経常利益について>

経常利益につきましては、営業損失の減少がほぼ経常損失の減少となっております。

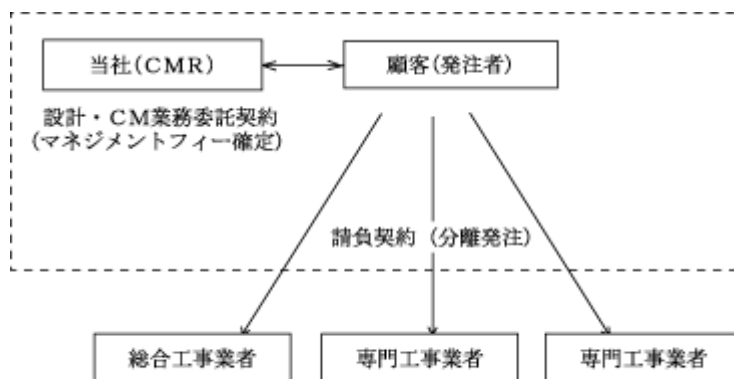
これらの結果、第2四半期累計期間の経常損失は前回予想△190百万円に対し、今回修正△95百万円(前回予想比95百万円の経常損失の減少)になる見込みであります。

<四半期純利益について>

四半期純利益については、経常損失の減少がほぼ四半期純損失の減少となっております。

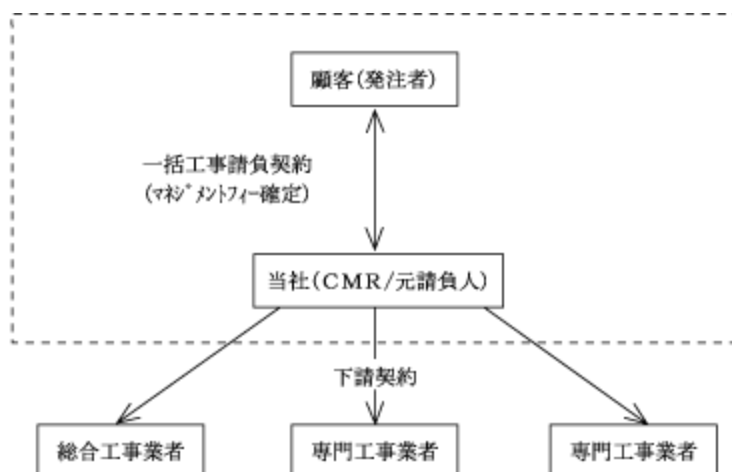
これらの結果、第2四半期累計期間の四半期純損失は前回予想△110百万円に対し、今回修正△55百万円(前回予想比55百万円の四半期純損失の減少)になる見込みであります。

<図1>業務委託契約(ピュアCM契約)



(注) 当社はマネジメントフィーのみを売上計上する。

<図2>工事請負契約(アットリスクCM契約等)



(注) 当社は完成工事高(マネジメントフィーを含む)を売上計上し、その売上原価(専門工事業者との請負金額)を顧客(発注者)に開示する。

(3) 通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想	4,600	108	100	58	円 銭 4.97
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	6,500	397	396	195	16.78

(4) 通期の業績予想について

第2四半期累計期間の受注環境と、これによる第2四半期累計期間の修正理由につきましては、1(2)の通りであります。今後の受注環境の変化と、顧客による契約形態の選択により通期の見込みが大きく異なることから、平成21年5月14日に公表しました業績予想は修正致しません。

(注) 業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値と異なる可能性があります。

以 上